

# 第 1 1 回 議会運営委員会

令和5年8月3日(木)  
5階 第1委員会室

開会 11時15分  
閉会 11時47分

午前11時15分 開会

## ○副委員長（渡邊康弘君）

皆さん、こんにちは。本日は榛葉委員長が体調不良のため欠席されておりますので、副委員長の私が議事を進行させていただきます。よろしくお願いします。

また、柴田増三委員も体調不良で欠席となっておりますので、ご理解いただければと思います。上着等の着脱は皆さんの体調に合わせて脱いでいただいても構いませんので、お願いいたします。時間も時間ですので、早速進めさせていただきますと思います。それでは、ただ今から令和5年第11回議会運営委員会を開会いたします。

## ○副委員長（渡邊康弘君）

1、令和5年第3回瑞浪市議会臨時会についてを議題といたします。

それでは、提出議案について及び提出議案の取扱いについて、一括して事務局長より説明させていただきますのでお願いいたします。

議会事務局長 梅村修司君。

## ○議会事務局長（梅村修司君）

令和5年第3回瑞浪市議会臨時会についてご説明申し上げます。

本日の招集につきましては、去る7月21日の議会運営委員会で、市長から依頼がありました8月7日でございます。

取り扱う案件ですが、承認案件が1件と選挙が1件でございます。

議案予定表と会議日程を併せてご覧ください。

まず、承第4号 専決処分の承認について（令和5年度専第6号 令和5年度瑞浪市一般会計補正予算（第7号））でございます。

本件は、議長、常任委員長に事前に説明し、議員の皆さんには棚入れをさせていただいておりますが、市民税の過年度還付金及び還付加算金かかる経費を専決したというものでございます。

本来、こういう件は執行部が出席してここでご説明申し上げるべきところなんですけど、本日の議会運営委員会は急に決まった臨時会について、急に開催しましたので、事務局の私から説明をさせていただきます。申し訳ございませんが、よろしくお願いいたします。

次に選挙ですが、これは前回の議会運営委員会でご説明させていただいたとおり、岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙でございます。

水野光二さんの任期が7月26日に切れたというものでございまして、早急に検討する必要がある

ことから、本臨時会の開催をお願いしたわけでございます。

8月7日は午前9時に本会議を開会しまして、諸般の報告、会議録署名議員の指名、会期の決定後、議案上程して、議案を上程するのは、先ほどの承認案件1件、議案上程して説明、質疑、討論を行い、即座に採決をします。

申し訳ございませんが、質疑、討論をされる場合は、期間が短く大変申し訳ございませんが、明日までに通告をお願いいたします。

そして、承認案件を採決した後、選挙を行い、閉会となります。時間は15分から20分ぐらいで、質疑等がなければ、そのような予定になりますが、ご足労いただきますよろしくをお願いいたします。以上です。

**○副委員長（渡邊康弘君）**

ただ今の説明に質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、質疑を終結します。

それでは、本臨時会で取り扱う議案及び選挙については、ただ今、説明があつたとおりとし、会期日程については、別添のとおり変更しますのでよろしくをお願いいたします。

**○議会事務局長（梅村修司君）**

申し遅れましたが、承認案件の議案については、この議会運営委員会終了後、直ちに委員の議員の皆様へ配付させていただきます。期間が短くて申し訳ございませんが、配付させていただきます。

あとプレス発表もこの後すぐ、議員の皆さんに配った後、すぐに発表ということですので、お願いいたします。

**○副委員長（渡邊康弘君）**

説明のとおりとしますので、お願いいたします。

**○副委員長（渡邊康弘君）**

次に、2、戸田市・取手市の行政視察についてを議題といたします。

本件につきましては、早速、皆さんから一言ずつ意見を願いたいと思いますので、まずは戸田市からお願いいたします。

順番にというところで、2番 熊谷隆男議員からお願いしたいと思います。

**○2番（熊谷隆男君）**

精査していますので、先に飛ばしてください。

**○副委員長（渡邊康弘君）**

それでは、副議長からお願いします。

**○副議長（柴田幸一郎君）**

初めに、本視察は議長諮問を基に視察目的を定め、埼玉県戸田市を視察場所としたと思っております。両市とも素晴らしい活動を行っていると考えていますが、どちらも議会の理解度がアップし、

次世代の市議会議員が増えるとは限らないということが分かりました。

戸田市の議会モニター制度についてです。戸田市の議会モニター制度は無報酬で、任期1年という長い期間でも、4名から6名の多数の応募があることに感銘を受けました。応募者は、議員が声をかけた特定した人物ではなく、戸田市政に興味のある方が応募されたと思われます。

しかし、議会を市民にとって分かりやすくする、議会をより良いものにするなどの本来の趣旨を大きく逸脱して、市政に関するご意見が多いことが、モニター制度の人たちの意見が多いことが分かった。

最後に、新たな試みとして意見交換が紹介された。この意見交換は、委員会が開催し、ワークグループ形式で行われていることを説明されました。瑞浪市に議会モニター制度を設けた場合、戸田市のように議会をより良いものにするという趣旨を大きく逸脱した意見が出されると予測します。そのため、議員が声をかけた人物をモニターとすれば、偏った意見になるだろうとも予測されます。

また、これを無理に行っても、新たな議員が誕生するとは考えられない。

愛知県岩倉市。議会改革特別委員会の報告でも、議会モニターがきっかけで議員になった人はいないと報告を受けました。しかし、長期的な視野で考えると、二、三十代の方が何年後かに議員になるかもしれないと私見を受けています。

議会モニター制度は、瑞浪市にはまだまだ勉強が必要であることが分かり、議員のなり手不足に直接関係ないことが分かりました。

次に、戸田市の委員会活動についてです。

戸田市は、各委員会がテーマを作成し、スケジュールを組んで管理し、最後に成果でまとめています。事例として、ICT化が挙げられていました。平成31年に市役所におけるICT化に関する提言書を作成し、業務効率化と市民サービスの向上を提案しています。

3年後の令和3年には、市役所業務におけるICT化に関する提言書、検証結果報告を作成し、3年間のICT化の把握と今後の計画について提言していました。また、市長宛てに「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化の実現に向けた要望書」まで、令和3年に提出しています。

瑞浪市で戸田市のように年間テーマを設けて常任委員会が活動した場合、ICT化の事例のように、多方面にわたって活動できるとは限らないと考えています。それは、瑞浪市の常任委員会が1年で任期が交代となっているからです。これはきっと、全議員が満遍なく専門知識を身につけることができるからであると考えております。

戸田市議会は、4年も5年も同じ委員会で所属できるようです。瑞浪市の場合は、個性を生かし、ローテーションして、様々な課題を誰もが一定の理解と対策を持つこともすばらしいと考えています。

以上が私の意見です。

#### ○副委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

それでは、成瀬委員、お願いします。

### ○5番（成瀬徳夫君）

議会報告会を、時期早々であることでやってないという話を聞いた。そういうことも一つあるのかなということで、私は受けとめた。

あと、モニターの職務ですね。本会議、常任委員会、特別委員会の傍聴が自由で、全然やらなくてもいいし、しててもいいという人もあるみたいということでございます。

それから、副議長が言われたように、15名の中で6人ぐらいのモニターがいるということで、モニター委員で女性がほとんどいないと言ってみえました。

そのようなことで、確かに議会モニターとしては必要だけでも、私はそのモニターをやってる人が議員になってくることを非常に期待してたんだけど、そういう人が少ないということでございます。モニターについてはそんなところでございます。

あと、年間活動テーマについては、各常任委員会、特別委員会にテーマを渡して設定したことも画期的なことと思っております。改選後3月末までに決定して、1年間でいろいろ提案を協議しながらやって政策立案を行っているということでございます。

これは見習えるべきことじゃないかなと思っておりますけども、やり方によってはなかなか難しいこともあるかなということを実感をいたしました。

### ○副委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

それでは、3番 三輪田幸泰委員。

### ○3番（三輪田幸泰君）

まず議会モニターにつきましては、皆さんおっしゃったこととほぼ同じですけど、モニターさんの選出方法が、戸田市さんのやり方に疑問がありまして、検討すべきではないかと思ったところ です。

あと、委員会の活動について、年間活動を作って、委員会でもんで、1年間を活動させていくことに関しては、常任委員会がビシッと決めて1年間動くことはとてもいいことであって、皆さんのご意見を伺いながら、議会の質が上がっていくのではないかと、委員会の質が上がっていくのではないかと。

あと、委員を5年やらせてもらったときに、専門性ということに関して、皆さん経験されておられるところで、得意分野があると思うんですけど、そこが活用できるというのも委員会の深さが出てくるのではないかと考えておりますので、それも研究材料になるのかなと思ったところです。

### ○副委員長（渡邊康弘君）

では、熊谷委員、お願いします。

### ○2番（熊谷隆男君）

まず、市の形、行政の形が全然違うので、自治体の違いが。小さい面積でありながら、不交付団 体で、国の支援を受けてなくて、川を渡れば東京都というようなところで言うと、あのベッドタウンで、これは取手市にも言えるところでありまして、財政的にも豊かであると。

今言われたように、モニター制度は、なり手がないと。同じ人がずっとやると。それで、出てくる活用の場所、委員会の傍聴であるとか、提案をもらおうとか、そこまでに至ってないと。活用としてはやりがいがない。出てくる人も暇つぶしで来ていないかと。自分たちは次の新しい人が出てくる元にならないかなと言っていましたけど、全く違う立場からモニター制度を使って、議会運営委員会が活用した広報のほうがいいというような意味合いが戸田市にはある。

委員会の活動については、すばらしいものもありますが、予算決算委員会が特別委員会の中で、予算に関わることも取り組んでいるイメージがあり、その辺がちょっと違うのではないかと。

委員会活動は人数も多いし、地域も限られるので、本市に当てはめて全て考えられるというものではないかと。どちらも参考にはできるけど、そのまま持ってこれるとは、考えにくい。いいところは取って、加えたり、減らしたりすることでないと活用は難しいかと、瑞浪独自のものを作らないといけないと認識しました。

#### ○副委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

私としましては、議会モニター制度については、特に戸田市の場合は議会報告会の代わりに開催しており、一部の方に議会を知っていただくということなので、それならば、瑞浪市のように、議会報告をもっと活発にやっていけばいいのかなと感じました。

皆さんの意見にもあったとおり、モニター制度が議員のなり手につながらないということが、岩倉市もそうですけども、そういったことがあるかと。そもそもモニターのなり手がいないということなので、本当にモニター制度はしっかりと考えて、瑞浪市に合うかどうかということも進めてみて、何のために導入するかということもしっかりと考えないと、意味がない制度になってしまうのではないかと感じております。

議会活動につきましては、今、熊谷委員が言ったように、参考になるということで、瑞浪市に合う形で、もう少し年間活動テーマとか政策提言というところ、あとは各懇談会も含めてですけど、瑞浪市としてやるとしたらどういうことができるかとしっかりと調査・研究した上で考えていけば、意味のある内容になったのではないかと感じております。

各委員から意見を言っていただきましたが、皆さん、同じような意見でしたが、ほかの委員の方に聞いてみたいとかいうことはありますか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○副委員長（渡邊康弘君）

柴田増三委員に関しましては、資料もいただいており、参考にした上でまとめたいと思いますので、お願いいたします。

続きまして、取手市のほうに行きます。

熊谷委員、お願いします。

#### ○2番（熊谷隆男君）

取手市も、人口は減っているように見えるので、実はこんなものかねと聞いたら、外国人の留学生がすごく多く、何千人とあって、入ってきたときには増えた数に入れなくて、2年か3年働いた後に出ていったときには、人口から減らされると。

これは別としても、実にやる気満々というよりも、すばらしい議会運営だと思うわけですが、意見交換会であるとかいろいろやってみえる中で、僕はデモテックについては、これは早稲田のマニフェストの指導というイメージがあるわけですが、それに対しても対応ができる、余裕があるということと、随分、北川さんの指導を受けて見えるという印象で、これは追いつかないなど。やるのが難しいかなというイメージがあります。

また、議員の方が3名見えただけ、どなたもポジションをしっかり把握して見えて、ICTの活用についても全面的に活用してる人もあれば、紙を利用していると。それで、予算書、決算書についても4,000円で買う人は買う、買わない人は買わない。議員の中で、そういうめり張りが、あればすばらしいと。

どうしても書き込みたい人であったりとか、慣れてる人、年齢、そういうことに対して柔軟な対応であり、統一する必要もなく進める。個性があると。考え方も、にこやかに3名の方話してみえるけど、みんな違って、統一的でなくて、自分の議員活動の下で議会活動をしていると感じました。

#### ○副委員長（渡邊康弘君）

三輪田委員、お願いします。

#### ○3番（三輪田幸泰君）

デモテックについて、AIで認識字幕をライブ配信とか、音声データを文書作成することが、そんなに高くないシステムでやっていると話を聞きまして、とても驚いた。

あと、学校に行って、出張講座をやっていることを聞いて、これは瑞浪市議会でもできないことはないと思ったのですが、ここの事務局職員が8人か9人ですので、そこは人員が多いといろいろなネットワークができると思いまして、それも研究材料になるのではないかと思ったところです。

#### ○副委員長（渡邊康弘君）

成瀬委員、お願いします。

#### ○5番（成瀬徳夫君）

デモテック戦略もびっくりしたのですが、実際にこんなことできるのかなと最初思ったけど、やっていることなので、結局は事務局長が物すごい勢いでやられてるからできることですが、

それを見ていると、相当、事務局と執行部は大変だと言ってみえた。事務局は相当勉強して、執行部もよくそこまでついてこれたと感じました。

1時間前に申し込めば、オンライン会議に参加できる、これは物すごく画期的だなと思ったことは事実でございます。

あと、傍聴のことで非常に心配だったのですが、オンライン会議だけの会議には、傍聴できないということなので、結局はこういう会議をやりながら、私もオンライン会議をやりますと言って出

ていった人がいる場合は、この会議場では傍聴できるということなの、それなら話は分かると思っていました。

このデモテック戦略について、2年連続全国1位だと言ってみえたけど、実際に市民はどう感じているということが一番の問題で、市民がそこまでまだついていけないのではないかと思いました。

あと、議会への住民参加については、オンライン併用の意見交換会を実施しているということで、基本的には意見交換会には、瑞浪市議会みたいに、どこかの団体に出てくださいと頼みに行くのではなくて、自主的に市民が参加をされているということに、びっくりしました。

少数でやっているののでできると受け取ったわけですけども、この意見交換会は、瑞浪市では議会報告会という名前でやっており、いつかは意見交換会に変えていくべき時代かなと感じました。

以上です。

#### ○副委員長（渡邊康弘君）

ありがとうございます。

副議長、お願いします。

#### ○副議長（柴田幸一郎君）

取手市のデモテック戦略についてです。デモテックとは、デモクラシーとテクノロジーの略語であると。そして、タブレットとソフトウェアを利用して、委員会及び本会議をオンライン開催していると。

視察では、取手市議会から3名の議員が参加され、自由に意見を言われた。委員会はオンライン開催に問題はないと言われているが、本音はリアル開催が良いと言われていた。

取手市はアミボイスと言われる音声を変換する優れたソフトを利用し、委員会活動や、本会議の様子を文字で画面に映していることにすばらしいと考えている。そして、全ての委員会、議会をYouTubeで放送している。

取手市が議会改革ナンバーワンである理由は、このデモテック戦略とアミボイスがあるからと考える。しかし、YouTubeの動画時間が90分以上と長い。各委員会と各本会議を最後まで見る人はいらぬのだろうか。

私もYouTubeを見るが、15分程度しか見ない。よほど興味のあるYouTuberでも30分しか見ない。90分以上の議会、委員会を最後まで動画視聴される方は、マニアだ。

それで、市議会日より「ひびき」はA3判1枚である。

これは議会の人が言っていたのですが、YouTubeで1から100まで全部放送しているから、市議会広報紙は簡素であると言われていた。それは本当に良いのだろうか心配する。

国会中継がNHKで1から100まで放送されるが、これを最後まで見る人はいないだろう。私の場合、新聞で用件を目を通すだけで、ニュースで発言後、またはコメンテーターの解説を聞くだけである。そう考えると、市議会も同様であり、A3判1枚の議会広報紙では分からないのではないかと思います。デモテックもパーフェクトでないと考えます。

また、議会による住民参画について、住民参加は満足度が80%と高評価であるが、これはマニエックの集まりばかりだったと私は考える。

以上です。

○副委員長（渡邊康弘君）

私から説明させていただきます。

デモテック戦略に関しましては、オンラインということに関して、あくまで手法として取り入れている。ハイブリッドでやればいいとの考えがあるからこそ、これだけ進んでいると思っています。

あと、これからは、コロナ禍から有事、特別な場合のみやっていけばいいのではないかととも言われてました。

例えば、コロナで欠席されますとか、何か災害があったときに対応できますとか、しっかりと準備できているのでこれができるかと。

また、委員会や本会議の開催時間が、10時とかのスタートだからこそ、この1時間前の連絡でも、事務局がバタバタせずに対応できるということもあるのではないかと。そういうこともしっかりと検討していく必要があると感じております。

議会への住民参画につきましては、中学生との共同事業は非常にいいと思いました。瑞浪市の中学生との意見交換とか高校生の意見交換は過去にありましたので、議長、副議長は1年ごとに変わってしまいますけど、議長が変わったとしてもできるような形、フォーマット作りをして毎年、中学校、教育委員長からの話もありましてやってほしいと意見もあるので、それに耳を傾けるような形を作っていただければ継続してできると思うので、そういったことをしっかりとこの議会として準備していけたらと感じております。

今までの意見に対して質問、ご意見とかありませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

いただいた意見はしっかりとまとめさせていただきます、進めていきたいと思っております。

それでは、議会運営委員会の行政視察については、ただ今のご意見を基に視察報告書を取りまとめ、議長に提出し、9月の定例会で報告資料としたいと思っております。

本日、榛葉委員長が欠席しておられますので、内容につきましては、委員長と副委員長に一任いただき、お願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

5番 成瀬徳夫君。

○5番（成瀬徳夫君）

取手市さんがデータを送ってくれるとの話でしたが、届きましたか。

○副委員長（渡邊康弘君）

届きましたら配付します。

---

○副委員長（渡邊康弘君）



次に、3、その他を議題といたします。

何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

○副委員長（渡邊康弘君）

別段発言もないようですので、これもちまして、令和5年第11回議会運営委員会を閉会いたします。

ご苦勞様でした。

午前11時47分 閉会